

令和7年度 第41回

学習デジタル教材コンクールのご案内

主催 公益財団法人学習情報研究センター

後援 文部科学省

協賛 (一財)日本児童教育振興財団, (株)日本教育新聞社, 東京書籍(株)

公益財団法人学習情報研究センターでは、学校教育におけるデジタル機器の活用をいっそう促進するため、教員その他の教育関係者および団体の創意工夫による自作デジタル教材やWeb ページ、種々のデジタル教材を使用した授業の指導案や実践例など、あるいはプログラミング教育用素材及びそれを生かした教材を募集し、優秀な作品を表彰する事業を実施しています。

このコンクールは、デジタル機器の活用と教育の情報化の進展に貢献することを目的としており、すぐれた作品には、文部科学大臣賞をはじめ数々の賞を授与するとともに、それらの作品を広く教育関係者に紹介し、相互利用されるように情報提供することとしています。

募集の対象となる作品は以下のとおりです。前回より、学習デジタル教材の活用環境の進展を踏まえてデジタル教材・アプリ等を活用した授業実践事例も対象にしています。

小さなものでも創意工夫がみられる作品が多数寄せられることを期待しています。ふるってご応募ください。

【対象作品】 (国の委託事業で制作されたもの、営利目的で制作されたものは除く)

A. 教員等(大学生を含む)が作成したもの

- ◇ 教員等が児童生徒の学習のために作成したデジタル教材・アプリ(ソフトウェアや教材等を創意工夫によりパッケージ化されたものを含む)
- ◇ 既存のデジタル教材・アプリ等を活用した授業実践事例

B. 児童生徒が作成したもの

教員の指導のもとに、児童生徒が学習活動の一環として作成したデジタルの成果物

【具体例】

- 文字や画像、朗読(音声)、動画等の**デジタル教材**
- 個別最適な学びや協働的な学びを支援する**アプリ**
- 静止画、動画、アニメーション、拡大提示用素材等を集積した**素材集**
- デジタル教材・アプリ等(デジタル教科書・教材、1人1台端末、クラウドベースのアプリ、プログラミング)を活用した**授業実践事例**
- プログラミングの授業を通じて児童生徒が作成した**成果物**

【応募資格】 (児童生徒が作成したものは団体として応募してください)

1. 団体

- ・学校、教育委員会、教育センター、その他教育機関、研究グループ等
- ・教員の指導のもとにある児童生徒

2. 個人

- ・学校の教員、教育委員会、教育センターの教育関係専門職、その他教育経験者等(大学生を含む)

【応募期限】 令和7年5月7日(水)

【審査のポイント】 (教材作品、応募資料、参考資料をもとに審査します)

- ・小さな教材・素材であっても児童生徒が関心を示し、他の教員の活用や作成へのアイデアやヒントとなるか。(教材・素材の魅力)
- ・その作品を授業で使うことにより、または既存の教材を用いて授業を行うことにより、学習を効果的に進めることができるか。(教材及び授業の学習効果)
- ・開発者の創意・工夫が折り込まれているか。(教材開発における創意工夫と成果)
- ・新しい技術を積極的に取り入れようとしているか。(新技術の適用)
- ・授業実践事例の場合は、具体的な指導案や授業の様子が分かる資料(画像資料等)が準備され、どのような授業であったのかが理解できるか。(授業の具体性)

【提出物】 次のものを提出してください。提出物は原則として返却いたしませんのでご了承ください。

1. デジタル教材

応募デジタル教材を CD、DVD 等の媒体に収容してください。
ツール型ソフト等の場合は、サンプルデータも収容してください。

2. 応募シート

応募シートをダウンロードしてください。(word データ)
「応募シート①,②」にしたがって資料を作成し、
データファイル (前項の媒体等に収容) と、印刷したものを提出してください。
「学情研 コンクール」で検索、もしくは QR コードからアクセスしてください。
<https://gakujoken.or.jp/ghp/bosyuannai/>



3. 参考資料

実践事例紹介、内容補足説明、その他参考となる資料等を添付してください。

※ デジタル教材を活用した授業実践事例、指導案を応募の方は、実践した授業のビデオ (DVD または CD) を添付してください。またビデオの中の重要な部分 (3分以内) を応募シート②4 (7) 学習の展開 2 (添付資料) の実践の重要な部分に記してください。

web 上にアップロードされている作品の場合は、収容した媒体の送付は必要ありませんので、応募シート②に URL を記載の上、応募シート①,②、参考資料等をメール添付でご応募下さい。

【送付先】 〒112-0005 東京都文京区水道 1-5-16 升本ビル (公財) 学習情報研究センター コンクール係
問合せ先 e-mail:gjk@gakujoken.or.jp 電話:03-6205-4531 FAX:03-6205-4532

【賞】(予定) 文部科学大臣賞 (団体賞, 個人賞, 各賞金 5 万円), 学情研賞, 企業賞を予定 (以上各賞金 5 万円)

【入賞発表】 学情研ホームページ <http://www.gakujoken.or.jp/> (6月中旬)
「学習情報研究」誌 9月号, 学情研メールマガジン

【授賞式】 令和7年8月4日(月)(予定)「未来の学習コンテンツ EX 2025」において開催する予定です。
なお、上位入賞者の方は授賞式後「ミラコン 2025」内で入賞作品の解説を行って頂く予定です。オンライン併用で実施予定です。詳細は HP でお知らせします。

【入賞作品の扱い】

・入賞作品の紹介

入賞作品の内容等について、学情研ホームページ、「学習情報研究」誌で紹介し、他の学校等での開発の参考に供します。

・入賞作品の閲覧・提供

入賞作品のうち、広く全国の学校で利用できるものについては、開発者の許諾を受けたうえで、学情研ホームページで検索可能とし、Web 上の作品は URL を紹介し、媒体等によるものは学校等からの希望により複製して提供させていただきます。

【審査員(予定)】 (五十音順)

赤堀侃司	(一社) ICT CONNECT 21 会長
石出勉	東京女子体育大学教授
郡司竜平	名寄市立大学准教授
小泉力一	北海道大学情報基盤センター訪問研究員
坂井岳志	世田谷区立八幡小学校学校支援コーディネーター
佐藤幸江	放送大学客員教授
津下哲也	姫路大学講師
原克彦	目白大学メディア学部教授
村瀬康一郎	岐阜女子大学特任教授
山本恵一	公益財団法人学習情報研究センター常務理事・事務局長
林向達	瀬戸 solan 学園初等部教諭